

6. 庄内こどもの杜幼稚園保護者への「魅力ある学校づくり構想」の検討状況説明会・質疑応答（概要）

○日 時：平成 28 年（2016 年）12 月 5 日（月）13 時 00 分～

○場 所：庄内こどもの杜幼稚園

質問・意見等	豊中市からの回答
<p>スクールバスは仮開校期間中も出さないのか。</p>	<p>現時点の案では、仮開校期間も含めてスクールバスは考えていませんが、決定ではありません。北校の場合、庄内宝町から野田小学校まで最長 2km、第十中学校まで 2.2km と認識しています。</p> <p>本日いただいたご意見は、持ち帰らせていただきます。</p>
<p>私は千成小、六中校区に住んでいるが、仮開校のときに子どもは中学校 3 年生になる。そのとき、どこの中学校に通うことになるのか。</p>	<p>平成 31 年度（2019 年度）に第六中学校に在学していた 1 年生、2 年生、すなわち平成 32 年度（2020 年度）の新 2、3 年生はそのまま第十中学校の敷地に仮開校する北校・中学部に通っていただくことを想定しています。</p>
<p>その場合、平成 32 年度（2020 年度）の新 1 年生は第七中学校になり、きょうだいで別々の中学校に通わなければならないのか。</p>	<p>計画が固まっていない現時点においては何も決まっていますが、例えば、兄弟と同じ学校に通えるよう指定校変更を認めるなどの経過措置を設けることなどが考えられます。</p>
<p>仮開校時に島田小学校をそのまま継続して残すことはできないのか。</p>	<p>市内部で検討した際にそのような意見もありましたが、庄内小学校と野田小学校の子どもたちが一緒になり、その 2 年後に島田小学校の子どもたちが合流すると、島田小学校だけが課題を抱えたまま取り残されてしまうこと、また合流時に子どもたちが新たな環境に馴染むまでに時間がかかることなどを勘案し、現時点の案として 3 校とも一緒に仮開校する案を提示したものです。今後、島田小学校でも説明会を予定していますので、参加者のご意見も参考にしながら検討を進めていきます。</p>
<p>先日開催された小中一貫校反対派の説明会に参加した。その説明会には、小中一貫校に勤めている教員から、中学生がだるそうにしている姿を小学生が見てしまい、希望がもてなくなっている、中学生がストレス解消のために小学生のエリアに入ってくる、中学校の定期試験中、英語のヒアリング放送が小学生の声（休憩時間）で聞こえず、問題になった等の話を聞いた。</p> <p>次の 3 点を要望したい。</p> <p>①施設一体型小中一貫校をつくるのであれば、この学校の轍を踏むことがないよう、施設面からしっかりと考えてほしい。</p> <p>②放課後のグラウンドの使い方だが、中学生は部活があるので、小学生は遊べない。近所の公園で、となるかもしれ</p>	<p>小中一貫教育に関しまして、ご不安な気持ちは受けとめさせていただきます。</p> <p>一点目、今回新たな取り組みを行うのではなく、これまでに行ってきた小中の 9 年間のつながりを意識した各種事業、施策をより充実させるために、施設一体型小中一貫校の整備を提案いたしました。説明にもありましたように、子どもたちが楽しく、安全に過ごせるよう、施設についても工夫したいと考えています。</p> <p>二点目、放課後のグラウンドについては、例えば第七中学校や庄内南小学校の跡地を利用して部活を行ったり、あるいは放課後の子どもの居場所づくり事業を拡充し、校舎内や（仮称）南部コラボセンターで実施したりすることも考えられます。現在、関係部局による庁内検討会議において</p>

<p>ないが、その点も検討してほしい。</p> <p>③中一ギャップの緩和という説明があったが、高校進学時のギャップの方が心配である。その点についても考えてほしい。</p>	<p>検討を進めていますので、随時ご説明させていただきます。</p> <p>三点目、中一ギャップについては、成長段階に応じた適度なステップは必要と考えています。具体的な検討は計画策定後になりますが、高校進学も見据えて、ギャップに戸惑うことがないよう子どもたちを育みたいと考えています。</p>
<p>制服はどうなるのか、教えてほしい。</p>	<p>本市の場合、小学校は全て私服、中学校は学校によって標準服、一部標準服、私服と異なります。庄内地域の新しい学校につきましては、計画策定後、保護者、地域住民、教職員などで構成する開校準備組織を設置し、その場で検討することを想定しています。</p> <p>現時点では何も決まっておりません。</p>
<p>通学路はいつ決まるのか、教えてほしい。</p>	<p>既存の通学路は、これまで通学路交通安全プログラム等で一定の安全確保がなされているため、その接続ポイントの安全確保が重要と考えています。今後、検討を進めるにあたり、保護者、地域の皆様、関係部局、関係機関等と連携、協力しながら安全確保に努めたいと考えています。</p> <p>通学路は校長が最終的に決定しますが、今回は新設なので、仮開校前からしっかりと検討しなければならないと認識しています。</p>